

A full-page background image of a vast sunflower field under a dramatic sunset sky. The sun is low on the horizon, casting a warm orange glow across the clouds and the tops of the sunflowers. A single tree is visible on the horizon line. The sunflowers in the foreground are in sharp focus, showing their bright yellow petals and dark brown centers.

令和8年度 研修案内

岩手県医療ソーシャルワーカー協会

令和 8 年度研修予定

はじめに

近年、少子高齢化の進展や地域包括ケアシステム・地域医療構想の推進、患者・家族の価値観や生活背景の多様化など、医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）を取り巻く環境は大きく変化しています。そのような中、MSW には制度や社会資源を活用した支援に加え、多職種との協働、権利擁護、意思決定支援、地域との連携など、より高度で幅広い専門性が求められています。

また、令和 7 年度には「医療ソーシャルワーカー業務指針」が改定され、MSW の専門性や役割が改めて整理されるとともに、変化する医療・福祉・地域社会の中で果たすべき使命が示されました。私たちは、社会の変化や制度改正に対応しながら、一人ひとりの患者・家族に寄り添い、専門職として実践を積み重ねていくことが求められています。

こうした時代だからこそ、自己研鑽を継続し、他施設の実践や多様な価値観に触れることは、自身の支援を振り返り、新たな視点や知識を得るだけでなく、他機関とのネットワークを広げる貴重な機会となります。また、研修で得た学びを所属施設へ持ち帰り共有することは、個人の成長のみならず、組織全体の支援力向上にもつながります。

令和 8 年度も当協会では、それぞれのキャリア段階や実践課題に応じて学びを深められる研修を企画しました。本研修が、日々の実践を振り返り、新たな学びや仲間とのつながりを得る機会となり、県内 MSW の専門性の向上と、より質の高いソーシャルワーク実践につながることを願っています。

【全世代対象の研修】

全年代を対象とした一般研修では、「1 年目からでもわかる価値と倫理」と「記録」をテーマに企画しています。

医療ソーシャルワーカーの実践は、制度や社会情勢の変化に応じて求められる役割が広がる一方で、その根底には「価値と倫理」に基づいた支援があります。また、日々作成する記録は、支援の経過を残すだけでなく、多職種との情報共有や支援の質の向上、専門職としての実践を可視化する重要な役割を担っています。

価値と倫理、そして記録は、新人だけでなく経験を重ねたソーシャルワーカーにとっても、日々の実践を振り返り、自身の支援を見つめ直すための大切なテーマです。医療ソーシャルワーカー業務指針が改定され、専門職としての役割や価値が改めて示された今だからこそ、自らの実践の基盤となる価値と倫理、そしてその実践を適切に記録として残す意義について学び直す機会としました。本研修を通して、改めて実践の土台を確認し、明日からの支援に生かしていただければ幸いです。

また、愛知県・滋賀県・佐賀県・大分県・岩手県で地域の実情に即した支援に取り組んでいる MSW が、それぞれの現状や実践の工夫、課題、今後の展望について共有する「5 県シンポジウム」を予定しています。今年度は「すべての虐待」をテーマに取り上げます。児童・高齢者・障害者など支援対象は異なりますが、MSW として虐待に向き合い、関係機関と連携しながら支援を継続していくという共通の役割があります。本シンポジウムでは、それぞれの地域における実践を共有し、対象や地域を超えて共通する課題や支援の視点を学び合うことで、MSW としての実践の基盤を再確認し、各地の取り組みをつなぐ機会となることを目指しています。

これらの研修を通して、多様なテーマをバランスよく学ぶ機会を提供し、県内医療ソーシャルワーカー一人ひとりの実践力と専門性の向上、さらには岩手県全体のソーシャルワークの質の向上につなげていきたいと考えています。

教育研修部一同

2026年度 岩手県岩手県医療ソーシャルワーカー協会 研修会スケジュール

	日	月	火	水	木	金	土	研修・イベント等	
6月		1	2	3	4	5	6	6/13 6/14	日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会岩手大会
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
7月				1	2	3	4	7/18	SW3団体合同研修 「ゆりかごから最期までーあなたの一生に寄り添うソーシャルワークのバトンー」 リレートーク、ワールドカフェ形式での交流会
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
8月							1	8/8	岩手県SW三団体合同事例検討会（共催） 内容未定 場所未定
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
9月			1	2	3	4	5		一般研修Ⅰ 「1年目からでもわかる価値と倫理」 講師：日本医療ソーシャルワーカー協会の講師を依頼予定 時期：9～10月 場所：未定（オンライン研修を予定）
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
10月					1	2	3		
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
11月	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				
1月						1	2		一般研修Ⅲ 「記録について」 講師：日本医療ソーシャルワーカー協会の講師を依頼予定 時期：1～2月 場所：未定（集合研修を予定）
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
2月	31								
		1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
3月	28								
		1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
3月	28	29	30	31					

※いずれの研修も変更する場合がございます

研修の開催方法・研修参加申込みについて

【研修の開催方法】

本年度の研修は一般研修Ⅱを除き、すべて対面での実施予定です。

一般研修Ⅱのオンデマンド配信については詳細が決まり次第、ご案内いたします。

【研修参加申し込み方法】

研修の申し込みは、一部他団体との共催の研修を除き、イベント情報サイトの「Peatix」(<https://peatix.com/?lang=ja>) から行っていただきます。



Peatix のアカウント登録時・申込時のアンケートに記載頂くメールアドレスは、できるだけ個人のメールアドレスで土日祝でも確認ができるものを登録ください。

研修の受付を開始しましたら、メールにて皆様にお知らせをいたします。

動画（YouTube 等の URL 含む）・配布資料を第三者へ提供することは禁止します。

研修予定 ～一般研修～

一般研修Ⅰ

目標	・医療ソーシャルワーカーの価値と倫理の基本について理解する。 ・日々の支援の中で、価値や倫理がどのように関わるのかを具体的な事例を通して考える。 ・自身の実践を振り返り、価値と倫理に基づいた支援について考える。 ・専門職としての役割や使命を再確認し、今後の実践に生かす。
対象	1～3年目：☆ 4～9年目：☆ 10年目～：☆
内容	「1年目からでも分かる価値と倫理」 ・講義
開催日	令和8年9～10月を予定
講師	日本医療ソーシャルワーカー協会へ派遣依頼予定
会場	オンライン研修を予定
受講費	会員：1,000円 非会員：3,000円
参加申込み	Peatixにて案内予定

一般研修Ⅱ

目標	・愛知県・滋賀県・佐賀県・大分県・岩手県における虐待対応の実践や工夫を共有し、地域ごとの特徴や課題について理解を深める。 ・虐待に対する権利擁護の視点や、関係機関と連携しながら支援を継続する医療ソーシャルワーカーの役割について考える。 ・各地域の実践から得た学びを通して、自施設・自地域における虐待対応のあり方や今後の実践につなげる。
対象	1～3年目：☆ 4～9年目：☆ 10年目～：☆
内容	「虐待にどう向き合うか—5県の医療ソーシャルワーカーが考える権利擁護と支援の最前線—」 ・各県からの報告 ・全体討議・意見交換
開催日	令和8年10月からの配信を予定（2か月程度）
講師	岩手県、愛知県、滋賀県、佐賀県、大分県の医療ソーシャルワーカー（調整中）
会場	オンデマンド配信のみを予定
受講費	会員：1,000円 非会員：3,000円
参加申込み	Peatixにて案内予定

一般研修Ⅲ

目標	・医療ソーシャルワーカーにおける記録の目的と専門的意義について理解する。 ・根拠に基づいた記録を作成するための視点や留意点について学ぶ。 ・記録を通して支援を可視化し、多職種との連携や権利擁護につなげる視点を養う。 ・自身の記録を振り返り、より質の高いソーシャルワーク実践につながる記録のあり方について考える。
対象	1～3年目：○　　4～9年目：◎　　10年目～：☆
内容	「記録について（仮）」 ・講義
開催日	令和9年1～2月を予定
講師	日本医療ソーシャルワーカー協会へ派遣依頼予定
会場	対面のみ 会場未定（盛岡市内を予定）
受講費	会員：1,000 円　　非会員：3,000 円
参加申込み	Peatix にて案内予定